



第40期 報告書

[2024.2.21.～2025.2.20.]

～ Doing it ～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



パレモ・ホールディングス株式会社

証券コード:2778



新社長よりご挨拶

## 持続的安定成長の実現に向け 「中期経営計画」を推進してまいります

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびパレモ・ホールディングス株式会社の代表取締役社長に就任いたしました、香西 雅弘でございます。厳しい環境の中、代表取締役社長の就任にあたりまして、その重責に身の引き締まる思いでございます。

当社を取り巻く専門店業界は、デジタル化の進展やサステナビリティへの対応が進む中、消費行動や価値観の多様化が顕著となり、競争環境も一層激しさを増しております。このような状況を踏まえ、当社グループにおきましても基幹事業の収益改善、成長事業への投資を継続するほか、デジタルツールを活用した様々なオペレーション改革にも取り組むなど、持続的安定成長への基盤構築と、企業価値の更なる向上を目指しております。

代表取締役社長

香西 雅弘

指針

正しい経営 | ローコスト経営  
安定成長 | 人財経営

さて当社グループ第40期報告書につきまして、謹んでご報告申し上げます。

この第40期におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。その一方、トランプ米大統領の政策転換による影響や、中東・ウクライナなどの地政学リスク、円安基調の為替のほか、原材料価格の高騰による物価上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況が継続しました。

当社グループが属する専門店業界におきましては、コロナ禍を経て、サステナビリティの観点からもシーズンレス商品を増やすことで、気候変動に対応した品揃えにシフトし在庫抑制を図るなど、過剰供給への対応が進む傾向となりました。また、消費行動はリアル店舗での購買が回復し、店頭販売だけでなく、OMO（デジタルとリアルの融合）対策が重要視される状況が更に強まる中、SNS活用の必要性も高まっていることから、デジタル関連の人材の確保と育成が課題となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、コロナ後の社会情勢の変化や当社が属する専門店業界を取り巻く競争状況の変化も踏まえ、新たな3ヶ年の「中期経営計画」に取り組むことで、安定的な収益の二本柱体制（アパレル、雑貨）を確立させるとともに、成長モデルの再構築に向けた取り組みを推し進めるなど、企業価値の向上に努めてまいりました。

第40期におきましては、物価高騰の影響が続く中、アパレルに

ついては、顧客のニーズに応じた価値訴求型の商品提案を強化し、雑貨についても既存店舗の活性化に向け各施策に取り組んでまいりました。しかしながら、全社の店舗数減少による売上高の減収に加え、賃金の引き上げに伴う人件費等の上昇もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、期初の計画を下回る結果となりました。

第41期におきましては、引き続き収益の改善が進んだアパレルにおけるトップラインの向上と、雑貨における商品MD（マーチャндаイジング）の再構築を図り、EC（ネット通販）をはじめとした成長事業への投資を継続することにより、収益の二本柱体制を確かなものにしてまいります。

なお本年1月21日の開示でお知らせしましたとおり、当社株式の継続的な保有と新たな株主様の獲得を目的に、株主優待制度の内容を見直し再開する運びとなりました。また当期末配当金につきましては、前期末に引き続き無配とさせていただきますことを、謹んでご報告申し上げます。株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、可能な限り早期復配ができるよう業績の改善、安定化に向け尽力してまいります。

そして当社グループにおきましては、引き続き企業の社会的使命を重視するとともに、企業統治並びにコンプライアンス体制の強化など企業の質的向上にも努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後も当社グループの事業戦略に、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Q1 当連結会計年度の業績についてお聞かせください

当連結会計年度の業績は、売上高150億40百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益2億14百万円(前年同期比40.7%減)、経常利益1億62百万円(前年同期比51.6%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は、減損損失1億87百万円の計上等が影響し、47百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益4億11百万円)となりました。

当連結会計年度のアパレルにおきましては、春の立ち上がりこそ苦戦しましたが、その後の気温上昇と7月の梅雨明け以降、全国的に猛暑日が続いたことから、夏物、盛夏物の需要が高まり販売の拡大につながりました。そして下半期に入ってからも、9月、10月と記録的な残暑の影響を受けましたが、11月以降は順調に気温も下がり、冬物のプロパー販売も堅調な推移となり、一年を通じて安定的な売上、利益が確保できました。

雑貨におきましては、300円プライスを中心とした生活雑貨を販売する「illusie300(イルシーサンマルマル)」において、既存店舗の活性化を目的とした商品MD(マーチャндаイジング)の再構築と、価値訴求型の品揃えに注力してまいりましたが、基軸となる生活雑貨商品の伸び悩みに加え、競合他社による出店急拡大の影響から減収となり、全社の既存店売上高前年同期比は98.4%となりました。

利益面におきましては、引き続きアパレルでは、総在庫を抑えながら商品鮮度を維持することでプロパー消化率を高め、値下げ販売の抑制に努めてまいりました。一方、「illusie300」につきましては、原価高騰の影響から一部商品の値上げを余儀なくされており、来店客数が伸び悩み結果となりましたが、全社の売上総利益率については、前年同期に比べ0.6%、通期の計画からも0.3%上回る52.5%となりました。また経費面におきましては、「中期経営計画」に基づき、不採算店舗の退店を継続して実施するほか、本社、本部経費についても徹底した削減に努めた結果、営業経費は前年同期比97.0%となり、金額にして2億34百万円の削減となりました。一方、人材の維持、確保の観点から賃金の引き上げに伴う人件費の上昇や、店舗の契約更新に伴う賃料の引き上げ等の影響もあり、営業利益段階で大幅な減益となりました。

店舗の出退店におきましては、新規出店がラージサイズの「Re-J」&「SUPURE(リジェイアンドスプル)」1店舗、雑貨の「illusie300」2店舗、合計3店舗にとどまる中、不採算による退店のほか、契約満了に伴う退店も含め36店舗が退店となった結果、当連結会計年度末現在の店舗数は244店舗(33店舗減)となりました。

当連結会計年度は、物価高騰の影響に加えマーケット環境の変化への対応に注力してまいりましたが、想定以上に店舗数が減少するほか、雑貨における生活雑貨商品の販売回復が思うように進まず、苦戦傾向となりました。「中期経営計画」の2年目となる今期は、アパレルにおけるトップラインの向上と、引き続き雑貨における商品MD(マーチャндаイジング)の再構築を図り、収益の二本柱体制を確かなものにしてまいります。

## Q2 「中期経営計画」の進捗についてお聞かせください

当社は、当連結会計年度より新たな「中期経営計画」をスタートさせ、黒字化からの次なるフェーズとして、アパレル、雑貨における収益の二本柱体制の確立に向け、「成長戦略」、「ガバナンス強化」、「社内インフラ/労働環境の改善」の3つについて、重点的に取り組んでおります。

「成長戦略」につきましては、アパレルでは既存店舗の改装に合わせ、主要ブランドであるレギュラーサイズの「LUDIC PARK(ルディックパーク)」、ラージサイズの「Re-J&SUPURE(リジェイアンドスプル)」へ集約を進め、統一したブランドイメージの確立により、認知度と顧客ロイヤリティの向上に取り組んでまいりました。今期におきましては、OMO(デジタルとリアル融合)の取り組みを更に推し進めることにより、これまで以上に顧客接点を増やし、購買の利便性を高めることで店舗の集客力向上を図ります。また幅広いニーズへの対応を目的に、2つの主要ブランドのほか、EC(ネット通販)発のZ世代向けブランド「NOEMIE(ノエミー)」、ライフスタイル提案型ブランド「Hare no hi(ハレノヒ)」を組み合わせた複合展開ショップ「PALEMO STORE(パレモストア)」の出店も強化するなど、ブランドの統一とオンライン戦略の融合により、ECでの販売拡大を含めたアパレル全体でのトップライン向上に努めてまいります。雑貨につきましては、全国各地の商業施設がリニューアル、テナントの入れ替わりを積極的に推し進める中、競合他社の出店拡大が想定を超えたスピードで進んだことから、300円プライスを中心とした「illusie300(イルシーサンマルマル)」では競争力を高めるための品揃えの充実を図ってまいりましたが、収益の改善には至りませんでした。

「ガバナンス強化」につきましては、物価高騰の影響や気候変動といった外部要因への対応を目的に、適正な仕入れ・在庫コントロールが定着し、アパレルについては安定的な売上と利益改善が進んでおります。今後は雑貨の「illusie300」の収益改善を目的に、仕入先との関係強化、新規取引先の開拓に加え、自社企画商品による競合他社との差別化を図るなど、ホールディングス、事業会社一体となり、新たな課題に取り組んでまいります。

「社内インフラの改善」につきましては、現在、基幹システムのリプレースに向けた準備を行う中、商品・顧客管理、そして仕入・発注業務など、次世代を見据えたシステムへの刷新が進んでおります。これにより、アパレルについてはリアル店舗とネット通販におけるOMOへの取り組みを更に強化するほか、雑貨については単品管理、個店対応の精度向上により「illusie300」の収益改善を後押ししてまいります。また、「労働環境の改善」につきましても、引き続き人材確保に対応した賃金の引き上げや処遇改善を推進するほか、業務効率の改善、作業負担の軽減についても、デジタルツールを活用しながら着実に進めてまいります。

以上、今期におきましては、引き続き物価高騰に伴う消費者の節約志向の高まり等、厳しい環境が続くことを前提に、業績予想につきましては、売上高151億円(前年同期比0.4%増)、営業利益3億50百万円(前年同期比62.8%増)、経常利益3億40百万円(前年同期比108.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億60百万円(前年同期は47百万円の純損失)を見込んでおります。

## ブランド展開



## LUDIC PARK ルディックパーク

遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを、楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと、着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。



## Re-J &amp; SUPURE リジェイ アンド スプル

「ほっちゃり女子」の「かわいいがきっとみつかる♪毎日おしゃれを楽しみたいという願いが叶えられる♪」をコンセプトにしたセレクトショップです。今すぐ欲しいトレンドアイテムからドレスまで、様々なシーンで着てもらえるお洋服・雑貨・ランジェリーを、LL~4Lサイズを中心に品揃えております。

アパレルにおきましては、物価高騰の影響や気候変動への対応を強化し、厳しい消費環境においても安定的な売上、利益を確保できております。新規出店におきましては、ラージサイズの「Re-J & SUPURE(リジェイアンドスプル)」の1店舗となりましたが、既存店舗の改装としてレギュラーサイズの「LUDIC PARK(ルディックパーク)」へのブランド変更を6店舗、複合展開ショップ「PALEMO STORE(パレモストア)」へのブランド変更を1店舗、雑貨から「NOEMIE(ノエミー)」への業態変更を1店舗実施するなど、主要ブランドへの集約が進んでおります。

今期におきましても、リアル店舗とEC(ネット通販)との連携強化、顧客ニーズに応じた付加価値の高い商品提供により、更なる収益改善とトップラインの向上に努めてまいります。



## NOÉMIE ノエミー

量産型・地雷系ファッションに特化したEC発のZ世代向けアパレルブランド。

## アパレルブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
レギュラー店舗	0	13	1	93
パレモストア	0	0	1	1
ルディックパーク	0	3	6	35
リルデシュシュ	0	0	0	2
ディジーメリー	0	0	△1	2
リシェリエ、ドスチ	0	4	△2	13
ギャルフィット、スズタン他	0	5	△4	34
ハレノヒ	0	1	0	4
ノエミー	0	0	1	2
ラージサイズ店舗	1	0	0	10
<b>アパレル合計</b>	<b>1</b>	<b>13</b>	<b>1</b>	<b>103</b>

注:当期末店舗数に催事店舗は含まれておりません。



## PALEMO STORE パレモストア

PALEMO STOREは、LUDIC PARK・Re-J&SUPURE・NOÉMIE・Hare no hiアパレル4ブランドのうち、3ブランド以上を複合展開するショップです。ブランドの垣根を越えて様々な商品を取り揃えることで、お客様に幅広い品揃えの中から買い物をお楽しみいただける空間を提供します。



## Hare no hi ハレノヒ

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。

**DAISY MERRY** デイジーメリー 大人の心と少女の心を持ち合わせたくつになってもかわいくオシャレをしたい女性に向けて…かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガリーーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

**Lilou de chouchou** リルデシュシュ いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながら、ON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる、上品で女性らしいファッションを提案します。

**Recherie** リシェリエ 「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

**GAL FIT** ギャルフィット 「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

**SUZUTAN** スズタン 「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。



## illusie300

イルーシーサンマルマル

「日常に彩り」をテーマに、300円中心のプチプライスでライフスタイルを提案します。

## INCENSE

インセンス

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」。自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

雑貨の主要ブランドである300円プライスを中心とした「illusie300(イルーシーサンマルマル)」におきましては、コロナ禍の厳しい環境下においても積極的な出店を続け、売上規模はアパレルを上回るまでに成長しております。急激なマーケット環境の変化から、新規出店におきましては、「illusie300」の2店舗となる一方、不採算店舗の退店も並行して行いながら、既存店舗の活性化、収益改善に注力してまいりました。今期におきましても、「illusie300」の商品MD(マーチャングアイジング)の再構築に努めるとともに、マーケットニーズに適応した品種構成の見直しと、基軸となる生活雑貨商品の品揃えの充実を図り、既存店舗の収益改善に努めてまいります。

## 雑貨ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
イルーシーサンマルマル	2	22	△1	130
インセンス	0	0	0	9
シベレット	0	1	0	0
雑貨合計	2	23	△1	139
複合店(※)	0	0	0	2
全社合計	3	36	0	244

(※) 複合店とは、アパレル、雑貨のブランドを複数合わせた店舗です。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (2025年2月20日現在)	前連結会計年度 (2024年2月20日現在)
<b>■資産の部</b>		
流動資産	4,435	5,631
固定資産	2,553	2,794
有形固定資産	580	773
無形固定資産	143	34
投資その他の資産	1,828	1,987
<b>資産合計</b>	<b>6,988</b>	<b>8,426</b>
<b>■負債の部</b>		
流動負債	3,271	6,246
固定負債	2,137	537
<b>負債合計</b>	<b>5,408</b>	<b>6,783</b>
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	1,567	1,629
資本金	100	100
資本剰余金	2,220	2,234
利益剰余金	△747	△700
自己株式	△5	△5
新株予約権	13	13
<b>純資産合計</b>	<b>1,580</b>	<b>1,642</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>6,988</b>	<b>8,426</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 [2024年2月21日から 2025年2月20日まで]	前連結会計年度 [2023年2月21日から 2024年2月20日まで]
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	363	565
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△218	△80
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△584
現金及び現金同等物の増減額	△900	△99
現金及び現金同等物の期首残高	2,945	3,044
現金及び現金同等物の期末残高	2,044	2,945

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 [2024年2月21日から 2025年2月20日まで]	前連結会計年度 [2023年2月21日から 2024年2月20日まで]
① 売上高	<b>15,040</b>	<b>15,941</b>
売上原価	7,144	7,663
<b>売上総利益</b>	<b>7,896</b>	<b>8,277</b>
販売費及び一般管理費	7,681	7,915
② 営業利益	<b>214</b>	<b>362</b>
営業外収益	21	21
営業外費用	73	48
<b>経常利益</b>	<b>162</b>	<b>336</b>
特別利益	26	256
特別損失	228	142
<b>税金等調整前当期純利益又は純損失(△)</b>	<b>△38</b>	<b>449</b>
法人税、住民税及び事業税	12	12
法人税等調整額	△3	25
<b>親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)</b>	<b>△47</b>	<b>411</b>

## ▶ POINT

- 売上高は前連結会計年度に比べ9億円減少の150億40百万円となりました。これは主に、営業店舗数が前年に比べ大幅に減少したことや、雑貨における売上高の減収によるものです。
- 営業利益は前連結会計年度に比べ1億47百万円減少の2億14百万円となりました。これは主に、営業店舗数の減少による売上高の減収に加え、賃金の引き上げに伴う人件費等の上昇によるものです。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、3億63百万円の収入となりました。これは主に、減価償却費1億61百万円、売上債権82百万円、棚卸資産1億79百万円の減少による資金の増加があった一方、仕入債務3億40百万円の減少による資金の減少によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、2億18百万円の支出となりました。これは主に、新設、既存店舗の改装等の有形固定資産の取得及び差入保証金の差入による1億39百万円の支出、無形固定資産の取得による1億31百万円の支出によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、10億45百万円の支出となりました。これは主に、借入金の返済によるものです。

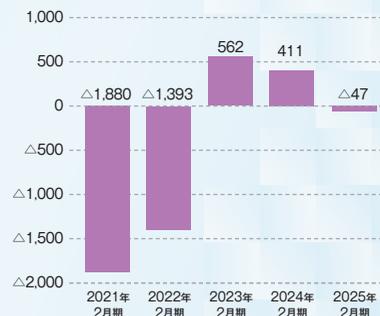
## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (損失) (百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (損失) (百万円)



## 会社概要 (2025年2月20日現在)

社名	パレモ・ホールディングス株式会社
設立	1984年11月22日
資本金	1億円
本社所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅五丁目27番13号 名駅錦橋ビル6F
従業員数	1,466名(グループ含む) (ナショナル社員127名、エリア社員他1,339名)
事業内容	事業子会社の経営管理等
ホームページ	<a href="https://www.palemo.co.jp/">https://www.palemo.co.jp/</a>

## 役員 (2025年5月15日現在)

代表取締役社長	香西 雅弘
取締役	増田 仁敬
取締役	笹野 信行
取締役	永田 昭夫
取締役	田村 富美子
常勤監査役	福井 正弘
監査役	今枝 剛
監査役	川口 直也

注:取締役のうち、永田 昭夫、田村 富美子の両氏は社外取締役であります。  
監査役のうち、今枝 剛、川口 直也の両氏は社外監査役であります。

## 株式情報 (2025年2月20日現在)

発行可能株式総数	普通株式	27,350,000株
	A種優先株式	10,000株
発行済株式の総数	普通株式	12,051,384株
	A種優先株式	265株
株主数	普通株式	9,390名
	A種優先株式	1名

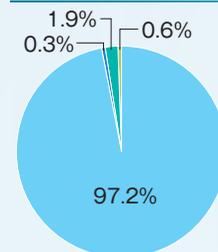
注:A種優先株式は、2024年4月30日付けで近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合から、株式会社西松屋チェーンへ譲渡されました。

## 大株主 (2025年2月20日現在)

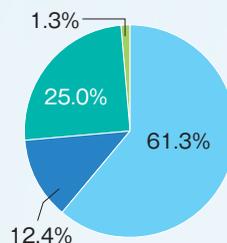
株主名	普通株式 持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社西松屋チェーン	2,087	17.35
GMOクリック証券株式会社	396	3.29
個人株主A	360	2.99
上田八木短資株式会社	299	2.48
トラストワークスプランニング株式会社	285	2.37
楽天証券株式会社	267	2.22
株式会社SBI証券	263	2.19
パレモ従業員持株会	167	1.39
個人株主B	150	1.24
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	147	1.22

注:持株比率は、当事業年度の末日における発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する割合であります。

## 株主構成 (2025年2月20日現在)



株主数構成比	株主数	構成比
個人株主その他	9,126名	97.2%
証券会社・金融機関	31名	0.3%
その他国内法人	177名	1.9%
外国法人・個人	56名	0.6%
合計	9,390名	100.0%



株式数構成比	株式数	構成比
個人株主その他	7,395,062株	61.3%
証券会社・金融機関	1,492,273株	12.4%
その他国内法人	3,008,868株	25.0%
外国法人・個人	155,181株	1.3%
合計	12,051,384株	100.0%

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
公告方法	電子公告により行います。 <a href="https://www.palemo.co.jp/">https://www.palemo.co.jp/</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人及び 事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031

### 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]

＊配当金に関する支払調書

＊単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書  
マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。  
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

### 株主優待

株式数	継続保有期間	パレモの店舗でご利用いただける株主様ご優待券贈呈額
300株以上 500株未満	1年以上(注)	2,000円分 (500円券×4枚)
500株以上 1,000株未満		4,000円分 (500円券×8枚)
1,000株以上		10,000円分 (500円券×20枚)

(注)継続保有期間「1年以上」とは、毎年2月20日とその前年の2月20日及び8月20日のすべての基準日において、当社株主名簿に同一株主番号で普通株式3単元(300株)以上の保有が記載または記録されていることといたします。

### 進呈時期

毎年4月に発送の「定時株主総会招集ご通知」に同封する予定であります。

### 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む  
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。